

第1回常陸川水門魚道試験運用検討会

実施日：平成29年2月27日(月) 14:00~15:30

場 所：霞ヶ浦河川事務所 波崎出張所

出席者：委員：元筑波大教授 前田 修、茨城県水産試験場内水面支場長 八角 直道、きたうら
広域漁業協同組合代表理事組合長 海老澤 武美、霞ヶ浦漁業協同組合代表理事組合長
(代理)、常陸川漁業協同組合代表理事組合長(代理)、国土交通省霞ヶ浦河川事務所
長 白土 正美

ワーカー：茨城県企画部 水・土地計画課長(代理)、茨城県生活環境部 環境対策課長(代
理)、茨城県農林水産部 水産振興課長(代理)、茨城県 霞ヶ浦北浦水産事務所長(代理)

(1) 開催状況



(2) 検討会内容

- ・常陸川水門魚道の設置の経緯、事業工程について
- ・モニタリング調査の経緯、結果について
- ・水門魚道操作規則(案)に向けた方針について

(3) 検討結果

- ・常陸川水門魚道の試験運用について、常陸川水門の目的である「塩害の防止」のための操作を実施しつつ、魚介類の遡上・効果に効果的な操作方法を検討する基本方針を了承した。
- ・今後の事業工程、及びこれまでのモニタリング調査をもとに、維持管理、検討方針について協議した。今後策定する予定である水門魚道操作規則(案)に反映する内容の方針について了承した。

(4) 主な意見等

- ・モニタリング調査結果について、遡上する各種類を確認した日時等の詳細を示してほしい。